

2009年5月27日
薬害肝炎の検証および再発防止に関する研究班

2009年度 班研究のテーマ

班構成

主任研究者：堀内

分担研究者：津谷、高木、磯部、片平、坂田、泉

研究協力者：松下、山本

※その他企業関係者に打診中（班員、協力者、ヒアリング対象等位置づけも併せて検討中）

研究テーマ

1. 被害者実態調査

- ・ 被害実態の総合的な調査を行い、身体的・精神的・経済的・社会的な被害をアンケートにより把握する。

2. 当時の行政・企業担当者に対するインタビュー調査

- ・ 昨年度の検証作業において、資料不足等で明らかにならなかった当時の状況をインタビューにより把握する。

3. 当時の医師の認識に関するアンケート調査

- ・ 昨年度の検証作業において、資料不足等で明らかにならなかった当時の状況をアンケートにより把握する。

4. 海外の状況に関する調査

- ・ 当時の海外（米国）のフィブリノゲン製剤の承認方法と日本の承認方法の比較により、我が国の当時の問題点を抽出する。
- ・ 海外において、フィブリノゲン製剤による肝炎感染問題にどう対処したのかを整理する。
- ・ 副作用（感染）被害防止・拡大防止のための海外の先進的な仕組みがあれば整理する。
- ・ 併せて、海外の被害者救済制度と実際についての整理も実施する。